

よりよい学校にしていくために

校長 飯田泰三

校庭の梅の花や、スイセンの花が咲き、春の訪れを感じます。子供達には修了式、卒業式を控えて今年度の学習や生活での成長を振り返り、来年度に向けて自信を深めてほしい時期です。学校としても今年度の教育活動を振り返り、本校関係の皆様や子供たち、職員からの評価をもとに来年度の計画を立てる時期になりました。

この度、本校学校関係者評価委員会より今年度の学校評価について報告書をいただきました。その報告書でいただきましたご意見を元に来年度に向けての様々な改善をしていきたいと思ひます。主に改善すべき点として、

- ① 学校行事等での児童の達成感の向上
- ② 児童・保護者と教職員のコミュニケーション向上
- ③ 教職員の働きやすい環境への改善

を考えています。また、子供たちが自身の未来をデザインしていく力を高めていくために、

- ④ 一人一人の児童理解に基づいたキャリア教育を推進する。
- ⑤ 体験的活動と ICT を有機的に連携させ、児童の主体的な学習に生かす。
- ⑥ 児童の多様性を尊重し、安全で魅力的な学校環境を実現する。
- ⑦ 地域・保護者との連携を深める。

ことも必要だと考えています。

①②⑤⑥⑦については、行事、学習、生活などについて教職員が子供と共に考えたり、保護者の方から助言をいただいたりできるように教職員と子供・保護者とのコミュニケーションを活性化させられるように努めたいと思ひます。保護者の皆様も、学校からのお便りやホームページなどに関心を持ってご覧いただき、学校で子供たちがどのような課題に取り組んでいるのか、どのように活動しているのか関心をもつていただけるとありがたいです。そして、保護者の皆様のご意見も学校の教育活動に取り入れていきたいと思ひます。ご協力お願いいたします。

②④については、本校では、担任、学年主任、生活指導主任、スクールカウンセラー、副校長、校長など全職員で一人一人の児童理解を深めるようにしています。それでも、一人一人の子供の理解はご家庭に及ばないことがほとんどです。ご家庭から相談をいただくことは一人一人の子供がよりよく成長するよう支援を充実させるために大切です。遠慮なくご連絡ください。また、学校での生活状況について保護者の皆様に相談させていただくことがありますので、どうぞ協力いただきますようお願いいたします。

子供たちが来年度も皆様と本校職員が協力して楽しく充実した活動を通して成長してける学校としていきたいともいいます。どうぞよろしくお願ひいたします。